

北海道新幹線 新小樽（仮称）駅 デザイン要望書 基本コンセプト

浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅 ～まちの記憶を未来へ～

新小樽（仮称）駅デザイン案【A案】

「歴史の継承

～小樽の歴史と懐かしさを後世に受け継ぐ品格のある駅～」



- ・北日本随一の商都として栄えた小樽の街並みに相応しい趣きのある外観デザインとしています。
- ・ガラス越しに見える屋根を支える構造材はアーチをモチーフとしており、小樽の街並みを思い起こさせます。
- ・歴史的な建物にも多く用いられた鉄や金属、石を用いて落ち着いた感じのある駅舎をつくり上げます。

注：A、B、Cについては、順位を示すものではありません。

北海道新幹線 新小樽（仮称）駅 デザイン要望書 基本コンセプト

浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅 ～まちの記憶を未来へ～

新小樽（仮称）駅デザイン案【B案】

「新旧の融合

～小樽のまちの記憶を継承し、未来へ繋ぐ端正なたたずまいの駅～」



- ・海運で栄えた小樽の帆船をイメージした歴史性のある外観デザインとしています。
- ・1階には小樽の歴史を感じさせるレンガを、上部には未来感のあるガラスを用いることで、過去と未来をつなぐ象徴を表現しています。
- ・上層部を大きなガラススクリーンとすることで開放感のある、周囲に開かれた駅舎となります。

注：A、B、Cについては、順位を示すものではありません。

北海道新幹線 新小樽（仮称）駅 デザイン要望書 基本コンセプト

浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅 ～まちの記憶を未来へ～

新小樽（仮称）駅デザイン案【C案】

「自然と温もり

～自然に溶け込み、小樽のまちに明かりを灯す洗練された温もりの駅～」



- ・ 周辺の自然環境に溶け込むように水すだれをイメージした外観デザインとしています。
- ・ ガラス窓をランダムに配置することで、日が落ちると夜景に彩りをそえる小さな灯りを集めた外装へと姿を変え、まちに温もりを与えます。
- ・ 金属質で落ち着いた色味の外装材を纏うことで、周囲の風景や季節、時間帯ごとの変化に溶け込むようなデザインとしています。

注：A、B、Cについては、順位を示すものではありません。